

1. 広東省

1. 4Kテレビネットワークの応用・産業の発展に関する座談会の開催

●16日、袁宝成・副省長主宰の上記座談会が開催され、馬興瑞・省長が出席するとともに講話を行い、次のように述べた。積極的に先を競って、工業・情報化部、新聞・出版・放送・映画総局等、国の関連部門の指導とサポートを得られるようにし、力を入れて政策的にリードし資金を投入しながら、研究開発機関と市場主体の積極性を引き出し、4Kテレビネットワークの応用・産業発展のボトルネックとなる問題を解決するよう尽力し、急いで4Kの基準を制定するよう推し進め、知的財産権の保護を強化し、実質的なブレイクスルーを獲得できるようにしなければならない。温国輝・広州市長も出席（7月17日付『南方日報』）。

※4Kテレビ：表示パネルの画素数がフルハイビジョン（2K）よりも更に高画質なテレビ。

2. 上半期経済動向分析会議の開催

●17日午前、胡春華・省党書記主宰の上記会議が開催され、下半期の経済関連業務について検討・手配し、次のように強調した。習近平・総書記による一連の重要講話、広東省に対する重要指示（4つの堅持、3つの支え、2つの率先）の精神を深く貫徹・実行し、安定の中で経済成長を求めるといふ全体的な基調をしっかりと捉え、下半期の経済関連業務を全力で着実にきちんと行い、優れた成果を上げて、第19回党大会の開催を勝利のうちに迎えるようではないか。馬興瑞・省長、李玉妹・省人代主任、王栄・省政協主席、任学鋒・広州市党書記、江凌・省党秘書長等も出席（7月18日付『南方日報』）。

3. メタンハイドレートの産業化に関する業務座談会の開催

●17日午後、国土資源部、省政府、中国石油天然ガス集团公司（CNPC、ペトロチャイナ）が広州市で上記座談会を開催し、孫紹聘・国土資源部副部長、馬興瑞・省長が出席するとともに講話を行なった。胡春華・省党書記の委託を受けた馬省長は次のように強調した。広東省は全国一の経済規模を有し、人口の多い省で、エネルギー消費も多いため、エネルギー分野の供給構造改革を推し進めることが切実である。同省はこの得がたいチャンスをつかみ、地球深部の探査に関する習近平・総書記の重要指示の精神を真剣に貫徹・実行し、国土資源部、ペトロチャイナとの戦略的協力を深め、メタンハイドレートの探査・発掘パイロット試験区の建設を揺るぎなく支持し、産業化を急いで推進し、「2つの100年」という奮闘目標、中華民族の偉大な復興という中国の夢を実現するために貢献していく（7月18日付『南方日報』）。

4. 省幹部による海外政府要人との会談

●18日午後、何忠友・副省長がベラルーシ経済副大臣一行と会談（7月19日付『南方日報』）。

●19日午後、羅娟・省人代副主任がバヌアツ教育相夫人率いる高官夫人代表団一行と会談（7月20日付『南方日報』）。

5. 2017年広東省企業家・省長対面協議座談会の開催

●19日、王栄・省政協主席主宰の上記座談会が開催され、20人以上の広東省の企業家代表が「同省の実体経済ビジネス環境の最適化」というテーマをめぐって、省政府幹部、関連部門の責任者と協議・意見交換を行い、良策がないか一緒に検討した。馬興瑞・省長が出席するとともに講話を行なった（7月20日付『南方日報』）。

6. 国務院による第4次大査察の第13チームによる業務引継ぎ会議の開催、胡春華・省党書記等との会談

●19日、第13チームのリーダーである陳肇雄・工業・情報化部副部長が上記会議を主宰するとともに講話を行い、馬興瑞・省長がブリーフィングと態度を表明する発言を行なった（7月20日付『南方日報』）。

●22日午後、広州市で胡春華・省党書記、馬興瑞・省長が陳肇雄・工業・情報化部副部長をリーダーとする第13チーム一行と会談。陳副部長は大査察の主な目的、重点内容、業務手配について紹介し、次のように述べた。このたびの大査察では、「放管服」改革の深化、企業のコスト削減、「双创」の推進と新たな原動力の育成・発展、医療・老人介護等の民生分野における改革の促進を重点的に行う（7月23日付『南方日報』）。

※「放管服」：「簡政放権（行政のスリム化と権限移譲）」、「放管結合（監督管理能力の強化と権限移譲の両立）」、「優化服務（サービス水準の向上）」の略。

※「双创」：大衆による起業、万人によるイノベーション。

7. 胡春華・省党書記が湛江市、茂名市を視察

●17日～20日、胡春華・省党書記が湛江市、茂名市のいくつかの村を訪れ、貧困世帯を慰問し、社会主義新農村モデルの建設状況を視察し、その具体的なプランや措置について検討するとともに座談会を開催し、村の幹部等から意見・提案を聴取（7月21日付『南方日報』）。

8. 広東・香港経済・貿易代表団が東南アジアでプロモーションを開催

●13日～20日、広東省と香港の40社以上の企業からなる上記代表団がマレーシア、タイ、ベトナムを訪れ、「一帯一路」建設を共に推進し、広東・香港・マカオ・ベイエリアのプロモーションを行なった。林少春・常務副省長がタイとベトナムの関連イベントに出席。同期間、林副省長は省政府が5月にクアラルンプールに開設した東南アジア事務所にプレートを授与した。省政府が直接派遣し駐在させる海外の経済・貿易事務所としては、欧州、北米に続いて3か所めとなる（7月21日付『南方日報』）。

9. 林少春・常務副省長がエクソンモービル・ケミカル副総裁と会談

●21日午前、上記会談で林少春・常務副省長はエクソンモービル・ケミカル副総裁の広東省訪問に歓迎の意を表するとともに、同省の経済・社会及び石油化学産業（以下、石化産業）の発展状況について簡潔に紹介し、次のように述べた。同省の石化産業システムは完全に整っており、市場の強みも顕著で、惠州大亜湾石化エリアは国が重点的に建設した7大石化産業拠点の1つである。エクソンモービル社は世界的に有名な石化企業であり、エネルギーや石化等の分野においてリーダーとしての地位を占めている。双方は意思疎通・調整を強化し、プロジェクトの研究を絶えず推し進め、双方の協力を更に深め、協力分野をいっそう拡大させ、共に発展していくことを実現させたい（7月22日付『南方日報』）。

II. 広州市

1. 市政府と広東鉄塔会社が戦略的提携

●18日、市政府と中国鉄塔株式会社広東支社（広東鉄塔公司）が、情報通信インフラ建設を共に推進していくための戦略的協力枠組み協定に署名。温国輝・市長が舒兆平・広東鉄塔公司総経理と意見交換を行うとともに、署名に立ち会った（7月19日付『広州日報』）。

2. 任学鋒・市党書記が潮州市、汕頭市、揭陽市を視察

●17日～20日、任学鋒・広東省副書記兼広州市党書記が潮州市、汕頭市、揭陽市を視察し、村レベルの「兩委」入替と末端党組織の建設、新農村建設、社会の安定維持に関する業務状況に対する理解を深めた（7月21日付『広州日報』）。

3. 他省政協視察団による広州市視察

●21日、許立全・山東省政協副主席率いる視察団が広州市を訪れ、「高等教育改革を深め、実用技能型人材の育成を重視する」というテーマについて視察を行なった。一行は更に広州開発区にある科学城パークも視察。劉悦倫・市政協主席、李瑾・副主席が同行（7月22日付『広州日報』）。

●22日、周衛健・陝西省政協副主席率いる視察団が広州市を訪れ、「軍民科学技術融合イノベーション発展」というテーマについて視察を行なった。于欣偉・市政協副主席が同行（7月23日付『広州日報』）。

III. 深圳市

1. 人事異動

●20日、第6回市人代常務委員会第18回会議で、許勤氏の辞職を受理し市長職を解き、陳如桂・中山市党書記が副市長、市長代理に任命された（7月21日付『南方日報』、『深圳特区報』）。

2. 2017第2回企業イノベーション・ビジネス・エコシステム大会の開催

●18日、上記大会が開催され、T. サージェント教授（2011年ノーベル経済学賞受賞）、アップル社共同創設者のS. G. ウォズニアック氏、劉自鴻 Royole 董事長兼CEO等、国内外の科学技術業界の有力者、最先端の経済学者、ユニコーン企業の代表が出席し、イノベーションブームの時代における企業変革・発展の道を探った（7月19日付『南方日報』）。

※Royole : Shenzhen Royole Technologies Co. Ltd. (深圳市柔宇科技有限公司)。第6世代のフレキシブル・アクティブ・マトリクス式有機EL (AMOLED) ディスプレイ生産ラインを建設中。

3. バイエルン（深圳）サッカースクールが正式に設立

●22日、FCバイエルン・ミュンヘンが海外に初めて設立する全日制の国際サッカースクールとなるバイエルン（深圳）サッカースクールが深圳市に正式に設立され、張虎・常務副市長がカール・ハイント・ルンメニゲ代表取締役と共に除幕式に出席。式典の前に、双方はサッカー産業における協力等について踏み込んだ意見交換を行なった（7月23日付『深圳特区報』）。